

初の沖縄県内設置。 陸上自衛隊の「弾薬・燃料補給庫」

防衛省は仮想敵国『中国』の「離島への侵攻」に備え、「弾薬や燃料などの物資を集積しておく陸上自衛隊の補給庫」を初めて沖縄県内に設置する。

◆いまさらながら、大変な驚きです。

「初めて設置です」よ。

「初めて」のです。

沖縄に陸自の補給庫が無かった事を恥ずかしながら「今、初めて知り」、「弾薬も燃料もなくどうやって戦うつもりだったのか」と不思議な限り。

日本政府の「脳内お花畑」には呆れるばかりです。

素直に「整備されることを良かった」と思いますね。(ワイズ)

離島奪還作戦を担う「水陸機動団」や、中国海軍艦艇を警戒する「地对艦ミサイル部隊」が実効的に対処するには弾薬と燃料は不可欠。

沖縄本島中部の陸自勝連分屯地(うるま市)に置く案が有力となっている。

補給所は「九州補給処沖縄支処」とする見通し。

勝連分屯地はアメリカ海軍第7艦隊の物資補給の港として使われているホワイトビーチ地区に近く、海上輸送で同地区を使える利点がある。

防衛省は年内に改定する防衛力整備の基本指針「防衛計画の大綱」と、平成31年度からの「中期防衛力整備計画」に沖縄支処の新設を明記する。

陸自の補給所は火砲などの弾薬や燃料のほかに車両、化学・通信・衛生の装備を保管したり整備したりする後方支援拠点。北海道、東北、関東、関西、九州に置き、支処と出張所が全国に27カ所ある。

ただし、沖縄県には「支処」も「出張所」もなく、物資は必要に応じ「九州」と「本州」から輸送。車両や装備整備も九州などに送って行っている。

◆有事の際もこうした輸送が可能なのか。

沖縄県内に備蓄している「弾薬の不足」は南西防衛の実効性を損なう「重大欠陥」と指摘されてきた。

南西方面の離島が占拠されれば、3月に長崎県佐世保市で新編した日本版海兵隊の水陸機動団を展開させ、全国の師団・旅団のうち機動部隊も派遣。沖縄県の宮古島には警備部隊を来年3月までに配置し、有事で初動対応にあたらせ、石垣島にも警備部隊配置を計画 중이다。

これらの部隊の即応態勢と組織的戦闘を継続できる継戦能力を担保するには弾薬や燃料、装備の備蓄と切れ目ない補給が欠かせず、整備も不可欠。そうした補給処機能を持つ支処を沖縄本島に置けば、最前線の離島への物資供給と整備のための往復も現状より格段に効率化する。

宮古島と石垣島には地对艦ミサイルも

配備し、弾薬庫も整備するが、敵の攻撃を受けても防護し続ける抗堪性の面で両島の弾薬庫は不十分。最小限のミサイルしか備蓄していない。

沖縄本島にも地对艦ミサイルを配備することも踏まえ、より抗堪性のあるミサイル保管機能を支処に備えるべく検討している。

